

土砂災害について

山地が多い高知県では、地震後の二次災害として、土砂災害の危険性も高くなっています。土砂災害には、がけ崩れ、地すべり、山津波ともいわれる土石流があります。雨天時に地震が起こる可能性もあり、その場合は土砂災害の危険が一層増します。

土砂災害は、地震だけでなく台風や大雨でも起こる可能性があります。 気象に関する情報や、市町村が発令する避難に関する情報を正しく知り、判断することが大切です。

また、土砂災害が発生する前には様々な「前兆」があるといわれています。この前兆を知り、川や山の変化に気づいたらすぐに避難することが大切です。



平成 13 年芸予地震で起きたがけ崩れ 【高知県土佐町】

山津波（土石流）



- ①地震の揺れで斜面が崩壊する。
- ②川がせき止められ、土砂ダム（湖）ができる。
- ③堰が耐えられなくなると、せき止められた水や土砂が一気に下流を襲う。



地すべり



比較的緩やかな斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く現象。

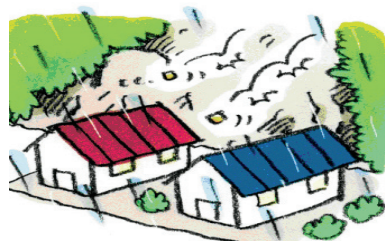
がけ崩れ



斜面の土砂や岩が崩落する現象。集中豪雨などの後に起こりやすい。

土砂災害は地震の後だけでなく、台風や大雨でも発生します。前兆現象を正しく理解し、早めの避難を心がけておくことが大切です。

土砂災害の前ぶれ（前兆現象）（資料提供：NPO 法人 土砂災害防止広報センター）



●がけ崩れの前触れ

- ・がけから小石がパラパラ落ちてくる
- ・がけの上の木が揺れたり傾いたりする
- ・がけから急に水がわき出る
- ・がけにひびわれができる



●地すべりの前触れ

- ・池の水が濁ったり、急に増えたり減ったりする
- ・山の木がザワザワする。木が裂ける音や木の根が切れる音がする
- ・地鳴りや山鳴りがする
- ・わき水が増える
- ・地面にひびわれや段差ができる



●土石流の前触れ

- ・川の中でゴロゴロという音がしたり火花が見えたりする
- ・川の水が濁り、水と一緒に倒れた木が流れてくる
- ・山全体がうなっているような音がしたり、地震のように震えたりする
- ・異常なおいがする
- ・雨は降り続けているのに川の水が減る